



「長野県から世界へ
多摩川精機株式の先端技術の挑戦」
多摩川精機株式会社 熊谷秀夫氏(工学博士)



工場見学(多摩川精機株式会社)



「2014.11.22長野県北西部地震の被害」
宮澤洋介氏(森林/応用理学部門)



「長野県のものづくりを支える人材育成」
～新たに開校する長野県南信工科短期大学の役割～
長野県産業労働部参与 工学博士 大石修治氏



平成27年度全体会合
(平成27年6月)



「日米欧の橋梁維持管理について学ぶ」
曹西氏(信州大学工学部助教)



「技術士にのぞまれるもの、長野県支部の目指すもの」
長野県支部幹事 有賀良夫氏(建設/総合技術監理部門)
「私の合格体験記」平成27年度試験合格者
梶持淳二氏(二次試験 総合技術監理部門)



平成27年度合格者祝賀会
(平成28年3月)

長野県支部のご案内

長野県支部には、現在15部門の高等な専門的応用能力を有する技術士が
おります。技術的な相談や業務の技術的支援にお応えできるネットワーク
と態勢を整えております。

ぜひ(公社)日本技術士会長野県支部にお声を掛けて下さい！

長野県支部事務局

〒390-0851 長野県松本市島内3481番地1 株式会社アンドー内

TEL 0263-48-0480 / FAX 0263-48-0009

E-mail : penagano@penagano.org

長野県支部HP : http://www.engineer.or.jp/c_shibu/nagano/



長野県支部

～活動案内～

(平成28年度版)



支部長挨拶

日本技術士会長野県支部です。どうぞよろしくお願いいたします。

技術士は、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者(技術士法)で、現在、幅広く21の技術部門があります。

資源に乏しく国土が狭い日本では、科学技術の向上と利用が国づくりを進める一つの柱です。その中で、技術士が果たす役割は大きいと考えます。

技術士(技術士補)自身が、常に継続研鑽に努めて、基礎技術を大切にするとともに、高度な応用能力と殻にとらわれない自由な思考で様々な課題の解決に当たることが重要です。また、科学技術が社会との関わりをますます深める中で、安全・安心な社会、持続可能な社会を目指すことが求められています。行動に当たっては、技術士倫理を実践します。そして、学生さんを含め若手技術者への助言と育成に努めるとともに、技術を持って社会に貢献する役割があります。

日本技術士会は、昭和26年に設立され、また、長野県支部は、前身の長野県技術士会の時代を経て、平成23年に日本技術士会の支部として発足しております。

広く皆様方には、技術士(技術士補)、日本技術士会、あるいは長野県支部をご活用いただければ幸いです。また、会員でない技術士(技術士補)の皆さんも技術士会にご入会いただきたいと思います。

技術士(技術士補)皆で、継続研鑽、同業種・異業種交流、若手技術者への助言・育成、技術士制度の広報、技術士活用の場の拡大を図り、社会貢献に努めていこうではありませんか。

(公社)日本技術士会長野県支部 支部長 小口 雄平



長野県支部の基本理念

“技術者倫理に基づき、技術士の資質の継続研鑽に努め、地域社会に対する貢献を通して国民経済の発展に寄与する”

組織と会員構成

公益社団法人 日本技術士会 長野県支部組織図

平成27・28年度



会員数			
No.	技術部門	正会員	準会員
1	機械部門	12	14
2	船舶・海洋部門	0	0
3	航空・宇宙部門	0	1
4	電気電子部門	10	6
5	化学部門	1	1
6	繊維部門	0	0
7	金属部門	5	1
8	資源工学部門	0	0
9	建設部門	79	22
10	上下水道部門	13	7
11	衛生工学部門	2	0
12	農業部門	11	1
13	森林部門	10	0
14	水産部門	0	0
15	経営工学部門	6	0
16	情報工学部門	4	4
17	応用理学部門	14	2
18	生物工学部門	2	1
19	環境部門	6	4
20	原子力・放射線部門	0	0
21	総合技術監理部門	43	1
部門別の合計数		218	65
会員数		155	53

注1:複数部門の登録者・合格者等があり、部門別では重複して計上しています。
注2:準会員は、技術士第一次試験合格者、日本技術者教育認定機構(JABE)認定課程修了者、技術士第二次試験合格者で技術士未登録の方です。

「技術士の資質向上」を目指した技術士CPD（継続研鑽）

Continuing Professional Development

技術士法第47条の2に「技術士の資質向上の責務」として「技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。」ことが記載されています。すなわち、技術士の資質向上を図るためCPDの実施に努めることが法律で責務と位置づけられています。

【CPDの目的】

技術士は、高等の専門的応用能力を有した技術者として、次のような視点を重視したCPDに努めることが必要です。

- 技術者倫理の徹底
 - 科学技術の進歩への関与
 - 社会環境変化への対応
 - 技術者としての判断力の向上
- 加えて、以下のような効果があります。
- 新しい知識の取得と自己啓発に役立ちます
 - 社会的信用が得られます

長野県支部では、長野県内を4つのブロックに分けてCPD事業を計画しています。また、年次大会及び合格者祝賀会の時にもCPD研修会を実施しています。一般(会員外)の方に公開されています。ぜひ、ご参加してみてください。
※北信・中信・東信・南信の各地区ブロック会は、年1回以上必ず開催されます。

平成27年度の活動状況

☆長野県支部全体会合および記念CPD講演会 平成27年6月27日
「2014.11.22 長野県北西部地震の被害」宮澤洋介氏(応用理学/森林部門)

☆南信ブロックCPD講習会 平成27年10月17日
「長野県から世界へ多摩川精機(株)の先端技術の挑戦」
講師 多摩川精機(株)常務取締役 熊谷秀夫氏(工学博士)
多摩川精機(株)第2事業所(講演会、工場見学会)
多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社(工場見学会)

☆中信ブロックCPD講座 平成27年11月14日
「昭和電工(株)大町事業所見学会」 会場:昭和電工(株)大町事業所

☆北信ブロックCPD講座 平成27年11月27日
※長野県の「つながろう木曾」応援運動に賛同する取り組みとして実施
「木曾の産業遺産と土石流災害現場を学ぶ」
産業遺産研修
・森林鉄道遺構 鬼淵橋(上松町) ・関西電力読書発電所と関連施設(柿其水路橋)
南木曾町土石流現場(梨子沢)研修
・災害の概要(長野県建設部、国土交通省) ・対策工事の計画と施工状況

☆東信ブロックCPD講習会 平成28年2月7日
「日米欧の橋梁維持管理について学ぶ」講師:曹西氏(信州大学工学部助教 工学博士)

☆長野県支部CPD講演会・平成27年度合格祝賀会 平成28年3月26日
「長野県のものづくりを支える人材育成」～新たに開校する長野県南信工科短期大学の役割～
長野県産業労働部参与 工学博士 大石修治氏
(信州大学名誉教授・前信州大学副学長・長野県南信工科短期大学校長予定者)
「技術士にのぞまれるもの、長野県支部の目指すもの」
長野県支部幹事 有賀良夫氏(建設/総合技術監理部門)
「私の合格体験記」
平成27年度試験合格者 劔持淳二氏(二次試験 総合技術監理部門)